

東京地本のホームページに、常軌を逸した人権侵害に耐えかねた悲痛な叫びが寄せられる!

安全を脅かし、人の命と尊厳を平気に踏みにじる管理者の威圧と威嚇

私の働く職場では、一連の脱退の中で管理者から組合脱退を強要される事象が止まりません。先日も後輩が当直助役より「脱退届け」を乗務途中に手渡され、不安や怒りとも言えない状況の中で乗務したと相談されました。管理者から次のようなことを言われています。

- お前が辞められない障害は何かあるのか。
- 書き方分かるか？サンプル(フォーマット)いるか。
- 新卒の内定が取れない理由は、
土日が休みじゃない、泊りがある、労働組合がある。
- 組合のせいで施策が停滞してきた。この会社は何年も成長が遅れているから、遅れを取り戻すために何でも取り組んでいく。
- 試験は、これまでは組合に気を使ってきたけど、今年ストやると話が出たから会社は怒り心頭で、東労組に入っている一団と見なす。
- 残っているやつは一族もろとも打首だ。
- 職場の国労のおっちゃんを見ても、ああいうふうになっちゃうぞ。
- 乗務員を続けたいなら組合辞めた方がいい。



と、東労組が全て悪いと言わんばかりの内容でした。しかも、一族、打ち首などと「人の命」と「尊厳」を踏みにじった内容でとても社会常識があるとは思えません。

公共交通機関として利用者の安全を守る上で、社会の非常識がまかり通るような会社であってはならないはずです。とても残念に思います。

後輩も「本当に脱退強要みたいなことやっているんだ!」「まだやっているのか!」「管理者の超勤がかさんでいるなら、私と話してないで仕事しろよ!」と怒りを露にしていました。

組合が機能していたこれまでも、脱線や架線切断など社員やお客さまの命を脅かす事象も発生しましたが、組合が物を言わなくなれば、会社は安全を軽視した効率重視の経営に進んでいくのではないかと。第二の福知山線脱線事故が起こらないように願う。

管理者が勤務時間で脱退強要する時間と労力があるなら、これまで断ってきた設備の改修を、スピード感を持ってさっさとやって下さい。と言っていました。

JRの常識が社会の非常識となっている今こそ労働組合として組合員を守る為にあらゆる手段を活用することを切に願います。

安心して働ける職場を構築するために、全組合員で声をあげよう!